JATET出版物

2013年9月現在

1. JATET規格等

規格等の概要は 2ページ以降を 参照ください　　表示価格には消費税が含まれております

分野	JATET規格番号	表　　題	頒布価格(円) 一　般	会　員
建　築	JATET-A-5010	劇場演出空間データシート　(CD－ ROM①付き)	完売	
	JATET-A-6020	劇場演出空間データシート2　(CD－ ROM②付き)	完売	
	JATET-A-7030	劇場演出空間データシート3　(CD－ ROM③付き)	完売	
	JATET-A-8040	劇場演出空間データシート4　(CD－ ROM④付き)	完売	
	JATET-A-2050	劇場・ホールの改修工事に関する調査研究	2,000	1,500
機　構	JATET-M-2011	演出空間の基準・規則・安全について	2,000	1,400
	JATET-M-6010	舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針	1,500	1,000
	JATET-M-6020	吊物バトン積載荷重表示指針	1,000	700
	JATET-M-6030-2	吊物機構安全指針・同解説	5,000	3,500
	JATET-M-4010-1	舞台機構操作で使用される用語と操作釦等の配置	3,000	2,000
	JATET-M-5040	床機構安全指針・同解説(改訂準備中)	5,000	3,500
	JATET-M-5090	舞台機構設備機器保守点検時における安全作業指針	1,500	1,000
	JATET-M-6040-1	JATET資料 舞台機構設備の運用操作の注意事項 http://jatet.or.jp/com/str-sm/20101202kikou-chuui.pdf	HP公開中	
照　明	JATET-L-1150	照明演出用調光装置の共通データ規格	3,000	2,000
	JATET-L-2160	演出空間用照明器具のつり下げハンガー(手締め式)規格	1,000	700
	JATET-L-2170	演出空間用照明器具の平置きスタンド規格	1,000	700
	JATET-L-3010	照明等演出用設備の伝送規格	5,000	3,500
	JATET-L-3011	リモコン照明機器制御の規格について	2,000	1,400
	JATET-L-3020	演出空間照明用調光器調光特性規格	1,000	700
	JATET-L-3030-3	演出空間専用差込接続器C型20A	1,000	700
	JATET-L-5040-3	演出空間専用差込接続器C型30A	1,000	700
	JATET-L-5050-3	演出空間専用差込接続器C型60A	1,000	700
	JATET-L-5070-3	演出空間照明器具等の銘板類の表示規格	3,000	2,000
	JATET-L-5080-3	演出空間用照明器具及び照明機材等の安全表示ガイドライン	5,000	3,500
	JATET-L-6060-3	演出空間専用差込接続器D型 20A	1,000	700
	JATET-L-6180	演出空間照明用サイリスタ調光器のノンディム機能規格	3,000	2,000
	JATET-L-7100-2	演出空間用調光装置の表示規格(銘板類)	1,500	1,000
	JATET-L-7110-2	演出空間用調光装置の安全確保のための表示ガイドライン	3,000	2,000
	JATET-L-7120-2	漏電感知器付き調光器規格	1,000	700
	JATET-L-7190	劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン	5,000	3,500
	JATET-L-7191	劇場等演出空間用照明設備の劣化診断・適正更新時期	1,000	700
		判定プログラムCD(JATET-L-7190対応版)、WinXP対応WIN7&8未対応 HP公開中、照明部会のページへ：http://jatet.or.jp/com/ltg-sm/	HP公開中	
	JATET-L-8110-2	演出空間用調光装置の安全基準	4,000	2,800
	JATET-L-9130	演出空間照明機器類のダボ及びダボ受けの寸法規格	1,000	700
	JATET-L-9140	演出空間用照明器具のフィルタホルダおよびフィルタホルダ枠の寸法規格	1,000	700
音　響	JATET-S-4041	劇場演出における音響効果測定について	2,000	1,400
	JATET-S-5030	劇場・ホール舞台連絡設備指針	5,000	3,500
	JATET-S-2050	移動及び持込音響機器における音響電源設備の安全基準	5,000	3,500
	－	スピーカーシステムを懸垂する場合の「基本原理」 吊下げスピーカーの安全性について	3,000	2,000
	－	劇場ホール建築　音響サイドよりの要望事項について	1,000	700
	－	劇場演出機器設計基準に関する研究　「音声明瞭度指数STIの ホール音響設計への適用についての調査研究」	3,000	2,000
	－	Pro Audio Acoustics Technical CD(プロオーディオ音響技術CD)	5,000	3,500
映　像	JATET-V-1010	自発光方式大型映像装置用語解説集	2,000	1,500
	JATET-V-1020	大型映像装置の安全運用について	HP公開予定	
総　合	JATET-G-4031	劇場マネージメント関連の人材育成について	2,000	1,500
	JATET-G-4041	新分野集客施設の実態について	2,000	1,500
	JATET-G-4051	劇団経営実態に関する調査研究について	2,000	1,500
	JATET-G-5010	劇場用語	2,000	1,500
	JATET-G-6020-1	JATET規格等の規格番号規程		

2. 機関誌、関連資料等

表示価格には消費税が含まれております

出版元等	表　　題	頒布価格(円) 一　般	会　員
JATET機関誌	機関誌「JATET」(1号～68号)　(カラー)	2,500	2,000
	機関誌「JATET」(69号～)　(モノクロ)	1,000	700
	JATET JOURNAL(1号～3号)	1,000	700
JATET FORUM 資料集	JATET FORUM 2011 資料集	2,000	2,000
	JATET FORUM 2012／2013 資料集	500	500
JATET・電気設備学会 共同	劇場等演出空間電気設備指針(電気設備学会と共同)、(改訂準備中)	当協会在庫分完売	
OISTAT	シアターワーズ (NEW THEATRE WORDS world edition) Theatre Wordsのデジタル版は、概要最後のページを参照ください	当協会在庫分完売	

☆購入ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。

公益社団法人劇場演出空間技術協会事務局
〒101-0045 東京都 千代田区 神田鍛冶町 3-8 6 第一古川ビル
TEL 03-5289-8858　FAX 03-3258-2400　E-mail：info2013@jatet.or.jp

規格等の概要は、次ページ以降を参照ください。

JATET規格等 概要

分野	規格番号	発行年	表題
建築	JATET-A-5010	平成7年	劇場演出空間データシート
比較的新しく建設された施設、日本の劇場・ホールとして重要な位置を占めていると判断した施設を中心に、建築部会の独断により掲載施設を選定。26ホールが掲載されている。おもな項目としては、名称、開館年、敷地面積等の一般事項、工事費、客席の特性、舞台データ、楽屋等諸室概要、設計者、職員数、舞台機構・音響・舞台照明・建築音響データ、平面図、断面図等。施設毎ではなく、ホール毎での掲載となっている。			
建築	JATET-A-6020	平成8年	劇場演出空間データシート2
比較的新しく建設された施設、日本の劇場・ホールとして重要な位置を占めていると判断した施設を中心に、建築部会の独断により掲載施設を選定。29ホールが掲載されている。おもな項目としては、名称、開館年、敷地面積等の一般事項、工事費、客席の特性、舞台データ、楽屋等諸室概要、設計者、職員数、舞台機構・音響・舞台照明・建築音響データ、平面図、断面図等。施設毎ではなく、ホール毎での掲載となっている。この号からデータベースがCD-ROM化され、資料として添付されている。			
建築	JATET-A-7030	平成9年	劇場演出空間データシート3
建築部会の独断により掲載施設を選定。29ホールが掲載されている。おもな項目としては、名称、開館年、敷地面積等の一般事項、工事費、客席の特性、舞台データ、楽屋等諸室概要、設計者、職員数、舞台機構・音響・舞台照明・建築音響データ、平面図、断面図等。施設毎ではなく、ホール毎での掲載となっている。			
建築	JATET-A-8040	平成10年	劇場演出空間データシート4
建築部会の独断により掲載施設を選定。27施設が掲載されている。おもな項目としては、名称、開館年、敷地面積等の一般事項、工事費、客席の特性、舞台データ、楽屋等諸室概要、設計者、職員数、舞台機構・音響・舞台照明・建築音響データ、平面図、断面図等。施設毎ではなく、ホール毎での掲載となっている。			
建築	JATET-A-5014	平成14年	劇場・ホールの改修工事に関する調査研究
劇場・ホールにおける改修工事の体系的手法が確立していないとして、調査研究を実施。建築に関わる部分を対象として改修工事に関する実態を公立文化施設へのアンケート、ヒアリング調査を以って明らかにし、劇場・ホール運営者への改修資料の提供と、今後の方向性検討のための材料となることを目的とした。 全国の劇場・ホールでの改修実施状況や、実施項目、実施時期などを纏めている。さらに、改修実施項目を建築系、一般設備系、舞台設備系に類型し、改修の傾向を探っている。また、改修工事の起案から実現までの過程における検討事項をヒアリング結果を基に項目立てている。 巻末には実際にヒアリングを実施した9施設の改修実例データが収められている。			

分野	規格番号	発行年	表題
機構	JATET-M-2011	平成8年	演出空間の基準・規則・安全について
建築構造技術や舞台可動装置などの操作・制御方式の発達により安全性と効果的な運営の必要性を示した基準整備が急がれる中で、イギリスとドイツでの演出空間における実態調査結果を掲載。 日本独自の基準を確立するための基礎調査と位置付けている。 イギリスでの調査では、英国劇場技術者協会（ABTT)を訪問してのヒアリング。おもな質問内容は①劇場関係の諸規則等はどういう組織で制定されたか。②演出側の要求と安全性の矛盾を規則上でどのように解決したか③規則の適用区域を客席と舞台に分けたのかどうか。ドイツでの調査では、ドイツ劇場技術協会（AGTT）、ビステ＆ゲリング建築設計事務所（劇場コンサルタント）へ訪問、ヒアリングを実施。比較調査が可能なようにイギリスでの質問内容と共通の項目となるような内容としている。			
機構	JATET-M-6010	平成8年	舞台機構制御盤・操作盤の周囲環境に対する指針
日本劇場技術協会発行の「コンピュータコントロールによる舞台機構機器制御部の周辺環境に対する指針（JITT技術資料M1002)」を基に作成。 機構機器の機能拡大や、高度な演出に対応するための制御回路PC化による、舞台機構の制御盤・操作盤周辺の、適切な環境づくりが求められている。この指針では、安全性の確保、事故防止のための項目を「温度・湿度」、「ノイズ」、「振動」、「塵埃・腐食性ガス」、「制御盤室の配置例なども記載。」、「供給電源」、「電源容量」、「接地」に類型し掲載。 また参考資料として、工業用計算機設置環境基準表（抜粋）も示している。			
機構	JATET-M-6020	平成8年	吊物バトン積載荷重表示指針
吊物バトンの許容積載荷重等を表示することにより、使用者に仕込みの目安を示し、吊物機構の安全性を高めることを目的とする。吊パイプへ固定して吊り下げられている照明器具、配線器具及びその他取り外しできない付属品等の重量は固定荷重とみなし、許容積載荷重には含まないとしている。また、適用する吊物機構は、バトン、照明バトン、ライトブリッジや音響反射板等に併設するバトンを対象としている。 その他、「仕込み要領による積載限度」、「表示の方法」を示し、事例として、「（道具）バトン等の仕込み要領による積載限度の例」、「バトンパイプの応力度により決まる積載限度の計算例」、「ワイヤーロープの許容荷重により決まる積載限度荷重の計算例」、「吊物許容積載荷重表の記入例」を取り上げている。			
機構	JATET-M-6030-2	平成8年	吊物機構安全指針・同解説
1990年刊行の「懸垂物安全指針・同解説」をもとに作成。劇場の舞台、演出空間等に定常的に設置される吊物機構を想定して作成。カウンターウェイト等の地震荷重を軽減してよいものとしていることが特徴的。また、この指針では、ワイヤーロープの品種や強度、点検整備を厳重に実施することで、1本のワイヤーロープで昇降しても安全を確保できるとしている。改訂版については、SI単位系以降完了に伴う修正、引用しているJISの改訂に伴う修正、海外規格製品の扱い、運用維持管理に関わる事項の見直しなどが修正されている。			
機構	JATET-M-4010-1	平成6年	舞台機構操作で使用される用語と操作釦等の配置
舞台機構機器操作及びディスプレイ等の表示色に関しての用語とその意味、対応する機能の表示を共通化することで、安全性の向上と簡便化を図るために、舞台機構機器の操作で使用される用語として作成。その後操作釦等の配置を追加して，表題とも改訂。 PCなどによりコントロールされた機器操作に係る用語・表示が対象。 実用性を重視し、学術的には正確でない用語なども採用されている。その他「運転操作にかかわる用語」、「運転操作にかかわる用語」、「動作方向、動作状態にかかわる用語、シンボル」、「速度にかかわる用語」、「時間に関わる用語」、「速度に関わる用語」、「キュー運転にかかわる用語」、「レベル設定運転にかかわる用語」、「表示色」、「異常時の表示」、「用語の解説」、「舞台操作盤に設けられる操作釦等の配置」、「操作盤の設置場所と操作釦等の配列」という構成となっている。			
機構	JATET-M-5040	平成17年	床機構安全指針・同解説
演出空間に設けられる床機構を対象とし、設計、施工、運用、維持、管理の各段階にわたって安全にかかわる基準を示し、床機構の安全性を高め、事故防止を図ることを目的とする。 床機構機器の安全装置にのみ頼るのではなく、演出に対応した安全策を主催者側と協議、確認しなければならない。そのうえで、十分な知識と技能を持った者が注意深く運転操作することにより、演出の可能性を制限することなく、床機構の安全が保たれるよう運用すべきであるとしている。本指針では一時的に設けられる床機構や大道具類、また特別な調査、研究または設計に基づいて施工された床機構にあって、その床機構に適した運用、維持管理がなされている場合は適用除外としている。			

機構	JATET-M-5090	平成17年	舞台機構設備機器保守点検時における安全作業指針
機構設備が安全に作動し、性能を長期間維持できるよう、注油、給脂作業、短期間に消耗する部品交換等の「保守」と、機器が正常に動いているかを確認し、必要により調整する「点検」を行う舞台機構設備機器保守点検。保守点検時に劇場・ホール等の各作業現場で作業員の安全確保ができるよう、その作業手順と安全対策の一例を指針としてまとめたもの。指針の構成は、 「安全作業を実施するための基本事項」、「安全作業のための遵守事項」、「作業責任者・作業員の遵守事項」、「舞台機構保守点検作業手順」(フローチャート形式)、「各作業所で予想される災害と安全対策」(点検対象・作業時に予想される災害・安全対策が一覧表に)、「脚立・ローリングタワー等の取扱い」(取扱対象・取扱上の注意・関連法令が一覧表に)。			
機構	JATET-M-6040-1	平成18年	JATET資料「舞台設備の運用操作の注意事項」
平成7年7月1日に施行された製造物責任法(PL法)に基づき、製造責任が明確になり、且つ使用者の使い勝手を阻止しない取扱説明書の充実を図るも、使用者側からは業界として統一のものを求められてきた。 そのような中、JATET-M-6030-1「吊物機構安全指針・同解説」で示した考え方を運用面でより確実にしてもらい、業界として平準化するために、作成した「舞台機構設備の取扱説明書の内、PLに関連する事項(JATET資料)」を、表題を含め改訂した。 一般注意事項、吊物機構、手動カウンターウエイト式バトン、ライトブリッジ及びライトブリッジ乗込み橋、床機構、オーケストラ迫及び客席ワゴン、大迫り・小迫・すっぽん、ステージワゴン・スライディングステージ・沈下床、回り舞台、移動小迫り、迫りまたはスライディングステージの落下防止装置等について記載。			

分野	規格番号	発行年	表題
照明	JATET-L-1150	平成13年	照明演出用調光装置の共通データ規格
COMOS規格が調光レベルデータのみであったのに対し、このJASCIIは一般的なテキストファイル形式であり、市販のパーソナルコンピュータで取り扱うことができる。 JASCIIでは、フェード、ディレイ、ウェイトの時間データと、パート関係のデータを規格範囲に加えた。また調光データと時間データ、時間軸に対応するパートデータの正確な互換性を優先している。 記憶媒体は、ハードウェアの進歩を考慮し規定なしとした。			
照明	JATET-L-2160	平成15年	演出空間用照明器具の吊り下げハンガー(手締め式)規格
国内で使用されているハンガーは、形状・許容吊り下げ質量・使用方法等はほぼ統一されている。しかし、製造業者の意図しない使用方法が存在したり、持ち込み機材、外国製品など、照明器具とハンガーとの不適切な組み合わせにより、安全性の担保が課題となっていた。そのような背景の下、照明器具等を取り付けるハンガーのうち、屋内用で器具つり用パイプに引掛けて吊下げる方式で、パイプ引掛け部と一体となるダボ受けを有し、固定ボルトの締付が手締め式のハンガーについて規定している。 JATET-L-5070-2,JATET-L-5080-2、JATET-L-9130、JIS C 8105-2-17を引用しながら、規格を構成している。 おもな規格構成は、「性能」、「構造、寸法及び材料」、「表示」、「試験方法」、「固定ボルト締付け強度試験」、「自然落下強度試験」など。 また、「演出空間用照明器具のハンガー(手締め式)の規格　解説」には、「性能及び試験方法」、「許容吊り下げ質量の用語について」、「安全を確保するための使用上の注意」などが掲載されており、たとえば「安全を確保するための使用上の注意」には、曲つり使用における実験結果(真横向きと真上向きでそれぞれ)、交換時期の目安などが示されている。			
照明	JATET-L-2170	平成15年	演出空間用照明器具の平置きスタンド規格
スタンドは安全性能について規格されておらず、経験によってスタンドの選定や取扱方を習得していた。このような背景から演出空間用照明器具取付機材の屋内用スタンドについて規定。適正にかつ確実に使用でき、需要家の利便性向上を目指したもの。演出空間において平らな床面に置き形で使用するものとし、特定の照明器具専用に制作された専用スタンドも適用範囲に含める。 ただし、傾斜床用など特殊用途のスタンドは除くものとしている。 JATET-L-5070-2,JATET-L-5080-2、JATET-L-9130、JIS C 8105-2-17を引用しながら、規格を構成している。 おもな規格構成は、「性能」、「構造、寸法及び材料」、「表示」、「試験方法」、「対荷重性能試験」など。 また、「演出空間用照明器具の平置きスタンド規格　解説」には、「性能及び試験方法」、「許容積載質量の用語について」、「安全を確保するための使用上の注意」が記載されている。例えば「性能及び試験方法」のうち「耐転倒性能について」では、スタンドの設置床面の傾斜によって規定することとなった背景や、「安全を確保するための使用上の注意」ではスタンドの破損やその他の支障について、ハンドルの操作などに言及している。			
照明	JATET-L-3010	平成7年	照明等演出用設備の伝送規格
舞台、スタジオ等の演出効果等に利用する、演出用照明器具、装置及び各種システム制御信号方式を統一することによって、それら使用機器相互間の互換性を確保し、また各種の器具、装置及び各種のシステム間を統括的な同一制御系のもとに正常に動作させることを目的とする伝送規格。 舞台・スタジオ等で使用する、演出用照明器具、装置及び各種システム間の制御信号伝送方式を適用範囲としている。 参照規格はEIA-485(電気的特性)/JIS　X　5104(伝送フレーム構成)その他、システム構成、伝送路のインターフェイス、識別IDと機種コードの自動生成、伝送手順とフォーマット、コンソール間の制御信号、規格使用時の留意事項などで規格書は構成されている。			
照明	JATET-L-3011	平成7年	リモコン照明機器制御の規格について
「はじめに」より:近年、「リモート制御式演出用照明器具」の実用化が急速に進展しつつある。各種照明器具メーカーは、独自の特徴をもつ製品を一斉に開発しており、このまま推移すれば、互換性を欠くシステムが複数存在することになり、メーカー及びユーザーに多大な混乱をもたらし、双方にとって経済的技術的損失となり、またエンターテイメント文化の成長を妨げることになる。欧米諸国も同様の問題を抱え、制御信号の規格統一化によって、混乱を未然に防ごうとしてる。我が国においても国際的な動向をふまえた、照明器具の標準化を推進し、機器の互換性を確保することは極めて重要な問題である。そこで、制御信号の統一化(共通化)を目標として調査研究を実施。 リモコン照明制御規格に関する調査研究、劇場演出用機器設計基準に関する調査研究、 リモコン照明機器の制御信号の規格化に関しては、1991年株式会社東京放送によって「RMX－3O」が提案されている。この調査は、「RMX-30」で示された考え方を更に各種リモコン照明器具に適合できるように発展させようとするもの。 リモコン照明機器が演出照明の各分野での使用状況、問題点、将来どのような機能・性能が期待されているかを調査し、規格化にたいして考慮すべき事項について討議。更にその上で制御信号規格の素案を作成を図った。 その結果、JATET-L-3010照明等演出用設備の伝送規格が完成した。			
照明	JATET-L-3020	平成7年	演出空間照明用調光器調光特性規格
本規格は、舞台・スタジオ等の演出空間で使用する演出空間照明用調光器の調光特性を統一することによって、調光レベルデータの共通性を確保することを目的としている。舞台・スタジオ等の演出空間照明で使用する白熱灯用調光器についての適用範囲。その他用語の定義、調光特性の種類や試験方法、などが規定されいてる。			
照明	JATET-L-3030-3	平成5年	演出空間用差込接続器C型20A
演出空間照明設備の分岐回路に使用するコンセント、コネクタとこれに接続するプラグが適正にかつ確実に使用でき、需要家の便に供することを目的とする。 演出空間照明設備において周波数50Hz,60Hzの交流125V以下の電路で、配線とコードとの接続又はコード相互の接続に使う差込接続器についてを規定範囲としている。 その他、用語の意味、種類・極数及び定格、性能、構造・寸法及び材料、表示、試験方法、　規格解説(規格制定の経緯等)という構成で成り立っている。			

照明	JATET-L-5040-3	平成7年	演出空間用差込接続器C型30A
演出空間照明設備の分岐回路に使用するコンセント、コネクタとこれに接続するプラグが適正にかつ確実に使用でき、需要家の便に供することを目的とする。 演出空間照明設備において周波数50Hz,60Hzの交流125V以下の電路で、配線とコードとの接続又はコード相互の接続に使う差込接続器についてを規定範囲としている。 その他、用語の意味、種類・極数及び定格、性能、構造・寸法及び材料、表示、試験方法、 規格解説（規格制定の経緯等）という構成で成り立っている。			
照明	JATET-L-5050-3	平成7年1月	演出空間用差込接続器C型60A
演出空間照明設備の分岐回路に使用するコンセント、コネクタとこれに接続するプラグが適正にかつ確実に使用でき、需要家の便に供することを目的とする。 演出空間照明設備において周波数50Hz,60Hzの交流125V以下の電路で、配線とコードとの接続又はコード相互の接続に使う差込接続器についてを規定範囲としている。 その他、用語の意味、種類・極数及び定格、性能、構造・寸法及び材料、表示、試験方法、 規格解説（規格制定の経緯等）という構成で成り立っている。			
照明	JATET-L-5070-3	平成7年	演出空間照明器具等の銘板類の表示規格
取扱者が明確に認識するために照明器具等の銘板類の表示方法の統一を図り、的確な判断情報を提供することを目的とした規格。電気用品取締法・電気用品取締法施工規則に規定する表示事項を必須表示原則とするなどの、表示の原則事項を挙げているほか、必要な表示項目、表示方法、表示レイアウト例などを、灯体の特徴や機器毎に示している。 改訂の要点としては、「電気用品の技術基準を定める省令2項（IEC-J）」が平成10年7月1日より適用されたことなどにより、法規に適合した基本となる「銘板の表示規格」を改正。また、「演出空間用照明器具取付機材に係わる安全性に関する調査研究委員会」からの提案を受け、用語の整合等を図った。			
照明	JATET-L-5080-3	平成7年	演出空間用照明器具及び照明機材等の安全表示ガイドライン
従来から演出用照明器具及び照明機材等の表現方法、取扱説明書などに安全な取扱いを表示しているが、危険の度合いや指示事項の表現方法、内容が製品ごとに異なるなど、必ずしも使用者に明確なものになっていない。このガイドラインは演出用照明器具及び照明機材等の安全な仕様を確保し、「人身への危害と財産への損害を防ぐための傾向表示」と、長期使用に際して、安全性を維持する「安全点検のための表示」として基本的な事項と考え方を示すことを目的としている。また、「安全確保のための表示事項チェックリスト」を作成。それぞれ機材の特性毎に類型化された上で、「製品使用段階の分類」、「表示事項」、「区分」、「表示媒体」を表形式にして表示。チェックリストとしている。 改訂の要点としては、「電気用品の技術基準を定める省令2項（IEC-J）」が平成10年7月1日より適用されたことなどにより、法規に適合した基本となる「安全確保のための表示ガイドライン」を改正。また、「演出空間用照明器具取付機材に係わる安全性に関する調査研究委員会」からの提案を受け、用語の整合等を図った。			
照明	JATET-L-6060-3	平成8年	演出空間専用差込接続器D型20A
演出空間照明設備の分岐回路に使用するコンセント、コネクタとこれに接続するプラグが適正に安全かつ確実に使用でき需要家の便に供することを目的とする。演出空間照明設備において周波数50Hz,60Hzの交流125Vを超え250V以下の電路で、配線とコードとの接続又はコード相互の接続に使う差込接続器についてを規定範囲としている。改訂事項は、表示について「特定電気用品の表示」と「認定検査機関名」の追加、規格制定の経緯において、「電気用品安全法の施行」についての文言の追加。			
照明	JATET-L-6090	平成8年	COMOSフロッピーディスク調光データフォーマット規格
劇場等において演出される演劇全般についての、個々の演目に関する照明技術を芸術の観点からとらえ、優れた照明効果（調光レベル値）の保存と再生を可能とするための調光データ共通フロッピディスクの規格化を計ることを目的とする。 具体的には、A劇場において演出された演目についての照明効果（調光レベル値）を、劇場間の共通フロッピディスクを用いることによりB劇場においてその再現を可能とするもので、各劇場における異なった調光操作卓を、規格化されたフロッピディスクを使用することにより調光データの互換性を可能にするものである。 特定の劇場において公演された演目の照明効果を、別の劇場においてそのまま再現すること及び、汎用パーソナルコンピュータを使用して事前に調光レベルの作成・保存と劇場の調光操作卓への展開が可能となる。			
照明	JATET-L-6180	平成18年	演出空間照明用サイリスタ調光器のノンディム機能規格
本規格は、サイリスタ調光器の主電力制御素子であるサイリスタを全導通させ、調光器の入力電圧にほぼ等しい出力をするノンディム機能を定義し、その機能に適合する調光器の性能、特性を規定することにより、演出空間用照明器具及び照明機器の電源として使用可能とすることを目的とする。			
照明	JATET-L-7100-2	平成9年	演出空間用調光装置の表示規格（銘板類）
調光装置はJIS規格等の分類に適合する項目がなく、独立した機能区分としている。銘板類の記載内容及びその表示方法の統一を計り、的確な情報が提供できることを目的としている。 本規格は調光装置の据置形、移動形の銘板類について適用する。構成としては、「表示の原則事項」、「表示内容」、「表示方法」。「銘板表示例」、「関連規格と本規格の関係」。			
照明	JATET-L-7110-2	平成9年	演出空間用調光装置の表示規格安全確保のための表示ガイドライン
演出空間用調光装置の安全な仕様を確保し、「人身への危害と財産への損害を防ぐための警告表示」と、長期使用に際して、安全性を維持する「安全点検のための表示」に関して基本的な事項と考え方を示す目的のもの。 据置形調光装置と移動形調光装置における「安全確保のための表示事項チェックリスト」も掲載。 初版(H9)では分かりやすい表示のあり方を検討し、基本となる「安全確保のための表示ガイドライン」を作成したが、平成11年に「劇場等演出空間電気設備指針」が制定されたことにより改定した。			
照明	JATET-L-7120-2	平成9年	漏電感知器付き調光器規格
舞台・テレビスタジオ等演出空間の調光回路において、漏電が発生した時速やかに感知し、出力を抑圧する機能を持った漏電感知機能付き調光器を提案し、その機能に適合する性能・特性を規定し、調光装置と照明灯回路の安全確保を目的とする。舞台・テレビスタジオ等の演出空間で対地電圧が150V以下の電源に使用する漏電感知と抑圧機能を有する定格電圧150V以下の調光器及び単相3線式電源に使用する定格電圧250V以下の調光器を適用範囲としている。			

照明	JATET-L-7190	平成19年	劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン
建築物をはじめとする各設備機器の安全性や性能は、経年劣化などによる寿命が存在します。演出空間の設備は事故や故障がなく、公演における舞台進行が正常に行われるものでなければなりません。 建築物や一般設備は、それぞれの専門機関により耐用年数、劣化判定、更新時期などの資料が発表されていますが、劇場等演出空間用設備は一般設備と異なり、設備の内容、使用条件、運用環境などにおいて特殊であるため、これら一般設備の資料は参考に適さず、また、劇場、ホールなどを対象とした資料も極めて少ない状況です。 特に、劇場等演出空間用舞台照明設備の更新に関する参考資料は皆無に等しいことから、設備機器の経年劣化、寿命についての科学的分析、設備環境、使用状態、稼働率及びメンテナンスの状態などさまざまな条件により一元的には求め難い要素があるため、既に運営実施されている劇場、会館ホールの設備内容、運営実態及び建設時から現在に至る履歴を把握する目的で、アンケート調査を実施し、国内に施設されている演出空間用舞台照明設備の実情を分析し、当策定委員会が推奨する「劇場等演出空間用照明設備の適正更新時期」をまとめ、今後の設備更新における資料を提供することを目的とした。			
照明	JATET-L-7191	平成20年1月	劇場等演出空間用照明設備の劣化診断・適正更新時期判定プログラム …JATET-L-7190対応版
JATET-L-7190『劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン』に示された更新対象設備の「個別劣化診断」「総合劣化診断」「適正更新時期判定」をパーソナルコンピュータ(PC)の画面上で行うものです。 「診断・判定プログラム」は、Java言語で記述しています。プログラム本体 および JavaVMはJATETホームページからダウンロードできます。 本プログラムは、JavaVMを搭載しているMicrosoft Windows PC 及び Macintosh PC に対応しています。 「劇場等演出空間用照明設備の劣化診断・適正更新時期判定プログラム」は、CD-ROMもあります。			
照明	JATET-L-8110-2	平成10年	演出空間用調光装置の安全基準
舞台関係の電気設備は一般電気に比べ運用・機能・性格が極めて特殊な取扱いになるため、電気主任技術者が実施する電気設備保守・点検とは別個に舞台専門技術者に委任することが多い。施工面における安全確保は「電気設備技術基準・解釈」、「内線規程」等で規定されているが、調光装置そのものには明解な規定や記述がなく、各製造者によってJIS,建設省電気設備工事共通仕様書、JEM等の近似規格を参考に設計・製造されている。そこで、安全確保の観点から、統一化し、調光装置の設計製造に寄与する目的で基準化された。			
照明	JATET-L-9130	平成12年	演出空間用照明器具類のダボ及びダボ受けの寸法規格
演出空間用照明器具類は、一般にダボとダボ受けを介してハンガーやスタンド等おを演出空間用取付機材に取り付け、演出目的に応じた所望の空間位置に設置している。この規格では、日本で標準的に用いられているダボとダボ受けの基本寸法を規定し、かん合についての互換性と安全性を確保し使用者の利便性を向上させることを目的とする。			
照明	JATET-L-9140	平成12年	演出空間用照明器具のフィルタホルダおよびフィルタフォルダ枠の寸法規格
演出空間用照明器具は、一般に投光開口部にフィルタホルダ枠を備え、カラーフィルタを保持するフィルタホルダを装着できる構造になっている。この規格は、日本で複数の生産者により生産される同等機種のスポットライト等で共通して使用されるフィルタホルダとフィルタホルダ枠の基本寸法を規定し、装着の互換性と安全性を確保し使用者の利便性を向上させることを目的とする。			

分野	規格番号	発行年	表題
音響	JATET-S-4041	平成6年	劇場演出における音響効果測定について
ホール電気音響設備の音声明瞭度指標としてのSTI方式の有用性、問題点を、実際のホールにおける実験を中心にして確認することを目的としている。着目点は①STI(Speech Transmission Index)値と聴感的な聞き取りやすさとの関係②ホールの残響時間、スピーカーの指向性等の条件とSTIの関係③STIの予測値と実測値との関係			
音響	JATET-S-5030	平成7年	劇場・ホール舞台連絡設備指針
舞台連絡設備の望ましい形態と構成について『新建築学体系33　劇場の設計』における劇場組織、連絡設備の構成を基に、舞台関係者に対するヒアリング、国内事例、欧米事例を参考とし、とりまとめたものとなっている。　指針では、1. 構成、.2. 必要条件、3. 概要、4. 共通事項としてそれぞれ舞台連絡設備として望ましい条件とは何かを整理・列挙している。巻末には、連絡設備機器配置表として、各諸室における必要機器が一覧となっている。			
音響	JATET-S-2050	平成18年	移動および持込音響機器における音響電源設備の安全基準
近年の公演に必要な電気音響設備の規模は拡大し、使用電力量も大容量化しているため、分電方式のみでは電気の安全性が確保できなくなっている。 本規格は、公演に使用する移動及び持ち込み音響機器に供給する電気の安全性を確保するための技術基準を定め、設計者、現場管理者及び仕込み作業者に寄与することを目的としている。 移動及び持込音響機器で構成された舞台音響設備のうち、劇場・ホール等で施設された持込音響機器電源盤、または電源車等の仮設電源設備で準備した音響用電源盤から、パワーアンプ、アンプラック等の電力増幅器、音響調整卓、及びCD等の音声再生装置の電源入力接続器までの強電配線部分を適用範囲としている。			
音響	-	平成5年	スピーカーシステムを懸垂する場合の「基本原理」 吊下げスピーカーの安全性について
○スピーカーシステムを懸垂する場合の「基本原理」 米国JBL社発行のテクニカルノートvol.9No.14"Basic Principles For Suspending Loud speaker systems"を翻訳したもの。 建築業者や音響機器取扱者に対して、適切な取り付け技術や取り付け金具等の知識を得るための資料。各種取り付け器具メーカーの発表している性能をデータとして使用し、注釈のない限り規格値は、中央部から引っ張る場合の数値としている。アメリカにおいて標準とされている材料・施工を掲載。 ○吊下げスピーカーの安全性について 平成2年発行の「懸垂物安全指針・同解説」(日本建設センター発行)を参考資料として、従来の方式の見直しを行ったもの。ワイヤーロープについてはこれを準用して安全率を10倍にした。			
音響	-	平成6年	劇場ホール建築　音響サイドよりの要望事項について
ホール建設にあたり音響上の作業・操作に関連する諸室を設定する場合の、検討を要することが望ましい事項について列挙したもの。 1000～2000人程度収容の多目的公共ホールを対象としている。 各諸室毎に　位置、スペース、窓、空調、スピーカ、搬入路、室内照明、電源、室内条件などの項目を立て、それぞれに必要な条件を整理している。			

音響	－	平成6年	劇場演出機器設計基準に関する研究 「音声明瞭度指数STIのホール音響設計への適用についての調査研究」
ホール電気音響設備の音声明瞭度指標としてのSTI方式の有用性、問題点を、実際のホール（中野区もみじ山文化センターホール）における実験を中心にして確認することを目的としている。適用範囲や条件について様々な角度からの調査研究が必要と考えられるが、次の基本項目を取り上げている。 ①各種STI測定器による実測値の比較②STI測定値とスピーチの聞き取りやすさについての聴感評価との比較③ホール残響時間を変化させた場合のSTI測定値と聴感評価④スピーカーの指向性範囲内外のSTI測定値と聴感評価⑤各種STIシュミレーションシステムのSTI予測値の比較⑥STIシュミレーションによるSTI予測値と実測値との比較 また、ホールにおける実験とコンピュータシュミレーションによる予測に分けて調査を実施した。			
音響	－		Pro Audio Acoustics Technical CD（プロオーディオ音響技術CD）
プロオーディオや各種音響計測の現場において、音響機器・システムの動作チェック・設定・調整、建築音響分野の測定・実験・実習などに用いることを目的として、財団法人　放送文化基金の助成を得て制作されたCD。 各種測定用信号として、1kHzサイン波、ピンクノイズ、ホワイトノイズ、オクターブバンドノイズ、正弦波スイープ信号、トーンバースト信号など、視聴用音源として英語、中国語、韓国語、日本語のナレーション、テナーサックス、トランペット、トロンボーン、ジャズピアノ、ウッドベース、ドラムスのソロ音源、ジャズ、ポップス、オーケストラ、邦楽などの楽曲や効果音音源、視聴用信号として、ステップダウンピンクノイズなど、全75トラックの音源が収録されている。			

分野	規格番号	発行年	表題
映像	JATET-V-1010	平成13年	自発光方式大型映像装置　用語解説集
近年の大型映像装置の発達により、参入メーカーが大幅に増え、経済性だけでなく性能面においても内容が変化しており多くの機種を比較しての購入選択が可能となっている。しかし、自発光式大型映像装置と投写型、直視型テレビとの共通点はあるものの多数の発行素子を並べて取り付ける構造のため、独自の構造や使用も存在している。そのような中で大型映像装置を新設、更新する場合の一助となるために、大型映像装置における直視型・自発光型大型映像装置の主な仕様項目について用語の解説をしている。付図として、おもな大型映像装置の分類図や、色再現範囲比較図が掲載されいている。			
映像	JATET-V-1020	平成23年	大型映像装置の安全運用について
劇場および演出空間等で、仮設により大型映像装置を使用して効果的な演出（ハード、ソフト、運用の組合せ）を行う際には、現在、大型自発光映像装置を用いる方法、投映型プロジェクター装置を用いる方法、およびレーザー装置を用いる方法の方法に大別される。これらの各映像装置は使い方次第で、重大な事故を引き起こす可能性がある。そこでこれらの演出は「確かな技術と経験を積んだ者」の管理下で行われるべきであり、「大型映像装置の安全運用について」は、この様な映像装置を安全に使用するための基準である。			

分野	規格番号	初版発行年	表題
総合	JATET-G-4031	平成6年	劇場マネージメント関連の人材育成について
日本における舞台芸術界全般の現状分析、アーツ・マネジメント、アーツ・アドミニストレーションの概念に関する社会の認識度と、今後の展望を考察。さらに比較研究の対象として、英・米、日の舞台あ芸術関連職能に対する人材育成の仕組みと社会の受入れ構造を調査し、人材育成に対する将来への展望が推測できるとして研究を実施している。 調査過程で生じた問題点に対して「はじめに」では、日本の舞台芸術界での、専門職としての技術的基礎教程の不明確性、アカデミズムと現場の乖離、徒弟制度での技術習得と、年功経験則による、職能維持の現状を指摘。それらに対して職能としての社会保障の確立、インターン制度の実施、創造文化の生産性の確保などが必須であると考察を調査研究会からの提言としてまとめている。			
総合	JATET-G-4041	平成6年	劇団経営実態に関する調査研究について
総労働時間の短縮による余暇時間の拡大や人口の高齢化に伴う社会構造の変容は、社会システムの変革を余儀なくさせ、国民にとっては生涯学習の必要性がますます高まっている。そんな中で㈶産業研究所実施の『感性産業に関する調査研究』では、「日本における芸術文化活性化のためには産業という視点からの見直しを」と提言されている。それを受け、日本における舞台芸術（演劇）の現状を把握し、産業化に向けての課題抽出を実施。マルチメディア市場にも対応でき、国際的な競争力のあるソフト・ハードの開発に視点をおいて、課題解決の方策を検討した。討議内容は、①我が国の舞台芸術業界の現状評価　②舞台芸術業界に於ける課題の抽出　③課題解決のためのアプローチ方法の検討・評価　④我が国の舞台芸術界の将来ビジョンの方向性　⑤将来ビジョンを具現化するための方策の提案。 『第3章演劇産業化に向けての視点』では日本での舞台芸術に対して産業的観点をもつ上での参考事例として、バウハウスとNIDA（ナイダ）を取り上げ、さらにアジアへ視野を広げて展開している企業として、ホリプロ、吉本興業を取り上げている。そのうえで、舞台芸術における研究開発機構設立の提案を掲げている。『第4章今後の事業展開の方向性』では、対処療法的であった芸術分野への支援・活性化を改め抜本的な方策を施すため、研究開発機構設立の際の概要を想定しまとめている。			
総合	JATET-G-4051	平成6年	新分野集客施設の実態について
劇場・ホールの枠を超えたエンターテイメントな各種イベント・スポーツなどが演出される空間を「新集客施設」として捉え、ソフト・ハードの一体化した技術的側面を調査研究。 91年ヨーロッパの施設視察調査実施、92年米の施設視察調査を実施。その二つの調査をまとめたもの。 構成は「立地」、「建築」、「防災・避難計画」、「イベント」、「維持管理と事業運営」、「関連法規」			
総合	JATET-G-5010	平成7年	劇場用語
劇場建築設計の際に使用される劇場関連用語の統一化を図ったもの。 建築とかかわりがあると思われる劇場関連用語から、劇場建築設計に使用される用語で他分野とのかかわりが深い80語を選出し共通劇場用語としている。 表示内容は、用語-かな-英語表記-類義語-関連語。用語の定義や意味は明示していない。			

分野			表題
OISTAT			Theatre Words デジタル版
Theatre Wordsのデジタル版はiPhone, iPad用があり、App storeで購入できます。 5種類あるうち日本語が入ってるのは、次の2種類です。 GE(Gold Edition, 2,500円)、 WE(World Edition, 1,650円)			